# ESET PROTECT オンラインヘルプ補足資料

## ■改訂履歴

版数	改訂日	改訂内容
2	2021/10/22	ESET Dynamic Threat Defense(以降、EDTD)試用お
		よび購入サポート外の旨追記
4	2021/11/15	「要件とサポート対象の製品」に Windows11 を追記
5	2021/12/6	「要件とサポート対象の製品」から Windows Server
		2008 SP 2 を削除
6	2022/1/28	「要件とサポート対象の製品」に Windows Server 2022
		を追記
7	2022/3/31	EDTD から ESET LiveGuard Advanced(以降、
		ELGA) への名称変更に伴う表記の修正
8	2022/4/28	「サポート対象外の機能」の追加、ARM64 対応に伴い
		「サポート対象外の環境」を削除
9	2022/6/29	サポート OS の不備修正、対象ライセンスの追加、「自
		動製品アップデート無効方法」の追記
10	2022/7/15	「自動製品アップデート無効方法」に、ESET Server
		Security for Microsoft Windows Server(以降、ESSW)
		の例「例 2」を追記
11	2023/1/12	「要件とサポート対象の製品」に Windows Storage
		Server 2008 R2 を削除(ESSW の要件外のため)、
		macOS 13.X Ventura を追記
12	2023/2/21	「要件とサポート対象の製品」に Ubuntu22.04 Desktop
		を追記、「サポート対象外の製品」の記述変更、軽微な
		文言修正
13	2023/4/20	「要件とサポート対象の製品」に Red Hat Enterprise
		Linux 9 を追記、クラウド対象ライセンスから ESET
		PROTECT MDR を削除(誤植のため)
14	2023/5/1	目次から「1.5 サポート対象外の環境」を削除(誤植の
		ため)
15	2023/7/14	「サポート対象外の機能」に脆弱性およびパッチ管理に
		関する機能を追記。自動アップデートポリシーの設定箇
		所の変更、目次の更新
16	2023/7/31	ESET Endpoint Security/アンチウイルス 10.1 リリース
		に伴い「サポート対象外の機能」から脆弱性とパッチ管

		理に関する機能を削除
17	2023/9/28	ESET PROTECT Elite のリリースに伴い、ライセンス
		関連の記載を修正
18	2023/12/1	サポート終了に伴い「要件とサポート対象の製品」から
		Windows8.1,8,7、WindowsServer2008R2 を削除、ESET
		HUB の削除、旧名称(EDTD)削除
19	2023/12/7	サポート終了に伴い「要件とサポート対象の製品」から
		macOS 10.12、10.13、10.14 を削除、ESET PROTECT
		への名称変更に伴い本文の旧製品名の記載を修正
20	2024/4/1	製品名称変更に伴いライセンス名称の記載修正
21	2024/5/30	「要件とサポート対象の製品」に、Rocky Linux 8,9、
		Alma Linux 9 を追記
22	2024/7/23	ESET Business Account(以降、EBA)に関する記載の
		箇所を ESET PROTECT Hub(以降、EPH)と EBA に
		関する内容に変更、「クラウド対象ライセンスについ
		て」を製品ラインアップページ URL に変更、「要件とサ
		ポート対象の製品」に Ubuntu 24.04 Desktop を追記
23	2024/10/4	「要件とサポート対象の製品」に macOS 15.X Sequoia
		を追加、「2.1 Live インストーラーの作成」「2.2 Live イ
		ンストーラーの実行」の手順と画像を ESET
		PROTECT (以降、EP) 5.5、 ESET Endpoint Security
		for Windows (以降、EESM)8.1 のものに変更
24	2024/11/7	「サポート対象外の機能」に ESET 脆弱性とパッチ管理
		の試用および購入を追記
25	2024/11/25	ESET Endpoint Security for Android (以降、EESA)5
		から使用される「オフラインロック解除コードの確認方
		法」を追記
26	2025/1/9	「要件とサポート対象の製品」に Windows Server 2025
		を追記、改訂履歴の挿入
27	2025/1/29	「要件とサポート対象の製品」に EMAgent 32bit 版の削
		除に関する内容を追記
28	2025/2/19	掲載 URL アドレス変更に伴い URL 記載の修正
29	2025/3/21	サポート対象外の機能に「ベータ機能」の追記
30	2025/3/25	対応 OS に Amazon Linux 2023 の追記

#### ■本書について

○ 本資料は、ESET PROTECT (以降、EP) のオンラインヘルプの内容を補完する位置づ けの資料です。EP を使用する際には、下記オンラインヘルプも併せて参照ください。

https://help.eset.com/protect\_cloud/ja-JP/

- 本資料には、ライセンスの管理ポータルサイトである ESET Business Account (以降、EBA) または ESET PROTECT Hub (以降、EPH) の基本的な機能や用語に関する説明 はありません。EBA、EPH の基本的な機能や用語については、EBA、EPH のマニュアルやオンラインヘルプを参照ください。
- 本資料は、本資料作成時の製品仕様に基づき作成されています。EP のバージョンアップなどにより、記載内容とEP に搭載されている機能及び名称が異なっている場合があります。また本資料の内容は、改訂などにより予告なく変更することがあります。
- 本資料の著作権は、キヤノンマーケティングジャパン株式会社に帰属します。本資料の 一部または全部を無断で複写、複製、改変することはその形態を問わず、禁じます。
- ESET、ESET PROTECT、ESET Endpoint アンチウイルス、ESET Endpoint Security、ESET File Security for Windows Server は ESET, spol. s. r. o.の商標です。
- Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。

## ■注意事項

オンラインヘルプの注意事項を以下に記載します。 オンラインヘルプに記載されている内容と異なる場合、本資料に記載された内容を正と します。

[要件とサポート対象の製品]

○ 日本では以下のオペレーティングシステムがサポートされます。

OS	Agent
Windows 10	$\circ$
Windows 11	0
Windows Server 2012	0
Windows Server 2012 R2	0
Windows Server 2016	
Windows Server 2019	0
Windows Server 2022	
Windows Server 2025	
Windows Storage Server 2012 R2	$\circ$
Windows Storage Server 2016	0
Rocky Linux 8	
Rocky Linux 9	$\circ$
Alma Linux 9	$\circ$
Red Hat Enterprise Linux Server (RHEL Server) 7	$\circ$
Red Hat Enterprise Linux Server (RHEL Server) 8	$\circ$
Red Hat Enterprise Linux Server (RHEL Server) 9	0
Cent OS 7	0
SUSE Linux Enterprise Server (SLES) 12	0
SUSE Linux Enterprise Server (SLES) 15	0
Ubuntu 18.04 Desktop	0
Ubuntu 20.04 Desktop	0
Ubuntu 22.04 Desktop	0
Ubuntu 24.04 Desktop	0
Amazon Linux 2	0
Amazon Linux 2023	0
macOS 10.15 Catalina	0
macOS 11.X Big Sur	0
macOS 12.X Monterey	0
macOS 13.X Ventura	0
macOS 14.X Sonoma	0
macOS 15.X Sequoia	$\bigcirc$

<sup>※</sup>EMAgent のバージョン 12.1 以降に 32bit 版はありません。 32bit の OS にインストールされる EMAgent の最新バージョンは 12.0 となります。

○ サポートされている言語は、日本語(日本)になります。

#### [ライセンス管理について]

- オンラインヘルプに記載されている ESET Business Account (以降、EBA) または ESET PROTECT Hub (以降、EPH) によるライセンス管理が必要となります。 EBA、EPH の使用方法についてはオンラインヘルプまたは ESET PROTECT Hub 開設 手順書を参照ください。
- オンラインヘルプに記載されている MSP は日本ではご利用になれません。

#### [データセンターロケーションの選択]

- EP をアクティベーションする作業の中でデータセンターロケーションを選択する必要があります。必ず「JAPAN」を選択してください。 EP のアクティベーション手順については、「ESET PROTECT Hub 開設手順書」を参照ください。
- データセンターは完全に分離されています。誤って「JAPAN」以外のデータセンターロケーションを選択した場合、設定を残したまま別のデータセンターへ変更することはできません。データセンターロケーションを変更するには、EPを削除して、EPのアクティベーションを最初から行っていただく必要があります。

#### [クラウド対象ライセンスについて]

○ 製品の種類と対応する機能に関しては以下の Web サイトの内容に準じます。

製品ラインアップ

https://canon.jp/biz/solution/security/it-sec/lineup/eset/product

## 目次

1	サポート対象外の内容	8
1.1	データセンターロケーション	8
1.2	管理対象外の製品	8
1.3	サポート対象外の機能	8
1.4	サポート対象外の ESET ツール	8
2	EP Live インストーラーを使用した macOS 用製品のインストールについて	8
2.1	Live インストーラーの作成	9
2.2	Live インストーラーの実行	14
3	自動製品アップデート無効方法	18
3.1	自動製品アップデート無効手順	18
4	オフラインロック解除コードの確認方法	21
4.1	デバイスコードの確認	21
4.2	オフラインロック解除コードの確認	23

## 1 サポート対象外の内容

ここでは、日本でサポートの対象外となる製品、ツール、機能について記載いたします。

#### 1.1 データセンターロケーション

JAPAN 以外のデータセンターロケーションの利用はサポートされていません。

## 1.2 管理対象外の製品

以下の製品を EP で管理することはサポートされていません。

- ・サポートを終了している製品
- ・日本ではリリースしていない製品

## 1.3 サポート対象外の機能

以下の機能は日本ではサポートされておらず、ご利用になれません。

- ・ベータ機能
- ・プレビュー機能
- ・MSP 関連の機能
- ・ESET LiveGuard Advanced の試用および購入
- ・ESET Full Disk Encryption の試用および購入
- ・Mac OS での ESET Full Disk Encryption の使用(EFDE for Mac の使用)
- ・ESET 脆弱性とパッチ管理の試用および購入

#### 1.4 サポート対象外の ESET ツール

以下の ESET ツールは日本ではサポートされておらず、ご利用になれません。

- · ESET AV Remover
- 2 EP Live インストーラーを使用した macOS 用製品のインストールについて ここでは、EP Live インストーラーを使用した macOS 用製品(ESET Endpoint アンチウ

イルス / Security for macOS) のインストールについて記載いたします。

## 2.1 Live インストーラーの作成

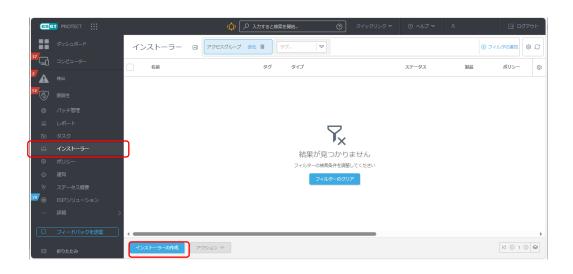
メニューの[インストーラー]から Live インストーラーを作成します。

## !注意

Live インストーラーを使用した製品のダウンロードには、インターネットへの直接接続が必要になります (プロキシサーバーを使用することはできません)。

プロキシサーバーを使用して ESET Management エージェントをインストールする場合は、エージェントインストーラースクリプト([インストーラーの作成]-[その他のオプション]-[エージェントインストーラースクリプト (macOS)]) をご使用ください。

① EP の Web コンソールで、[インストーラー]-[インストーラーの作成]をクリックします。

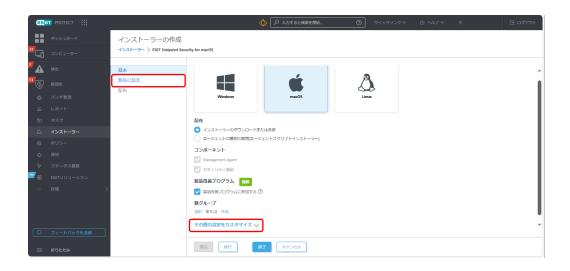


② [macOS]をクリックし[インストーラーのカスタイマイズ]をクリックします。

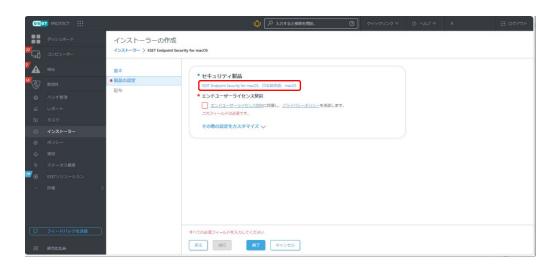


③ [製品の設定]をクリックします。

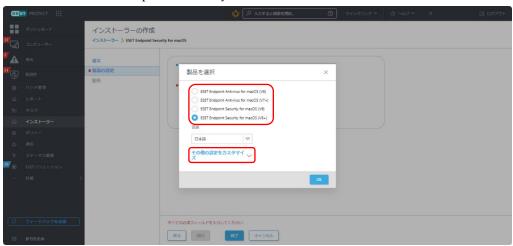
必要に応じて静的グループの設定や[その他の設定をカスタマイズ]をクリックして作成するインストーラーの名前、エージェントのポリシーなどを変更できます。 ※macOS 用の Live インストーラーでは HTTP プロキシ設定は使用できません。



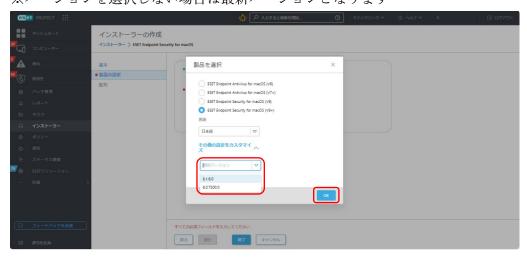
④ [ESET Endpoint Security for macOS、日本語言語、macOS]をクリックします。



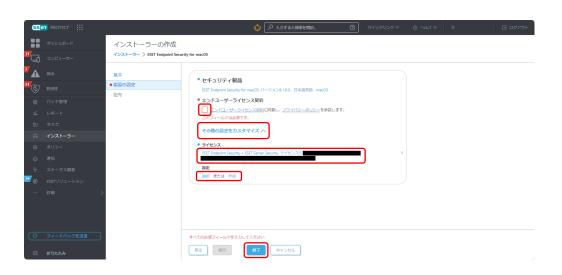
⑤ インストールする製品を選択し[その他の設定をカスタマイズ]をクリックします。※画像では ESET Endpoint Security for macOS (V8+)を選択しています



⑥ インストールするバージョンを選択し[OK]をクリックします。※バージョンを選択しない場合は最新バージョンとなります



- ⑦ 「エンドユーザーライセンス契約に同意し、プライバシーポリシーを承諾します。」のチェックボックスを「オン」にします、[その他の設定をカスタマイズ]をクリックしライセンスを設定します、必要に応じて[選択][作成]にてポリシーを設定します、設定が終了したら[終了]をクリックします。
  - ※画像は[その他の設定をカスタマイズ]をクリックした状態になります



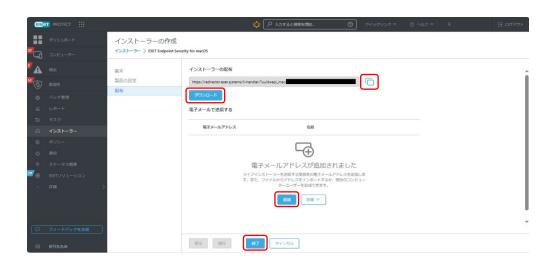
⑧ この画面では、Live インストーラーのダウンロードや、Live インストーラーを入手するためのダウンロードリンクを確認することができます。

ファイルをダウンロードする場合は[ダウンロード]をクリックします。

リンクをコピーする場合は[□]をクリックします。

電子メールでダウンロードリンクを送信する場合は[追加]をクリックしメールアドレスを設定できます。

必要な作業が終了したら[終了]をクリックします。



## 2.2 Live インストーラーの実行

製品を導入したいクライアント PC で、「2.1」で作成した Live インストーラーを実行します。

① Live インストーラーをダブルクリックして起動します。



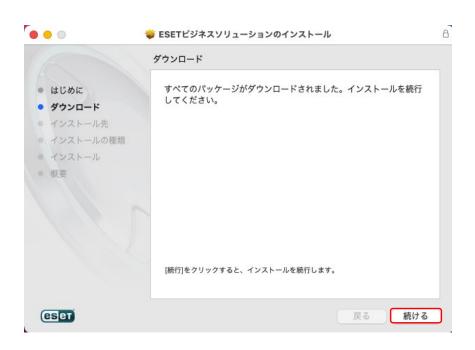
② インストールの確認画面が表示されたら[許可]をクリックします。



③ システム要件を確認して、[続ける]をクリックします。



④ 製品のダウンロードが開始します。製品のダウンロードが完了したら、[続ける]を クリックします。



⑤ ダウンロードの概要画面、インストールするコンポーネントを確認できます。インストールを続けるには、[続ける]をクリックします。



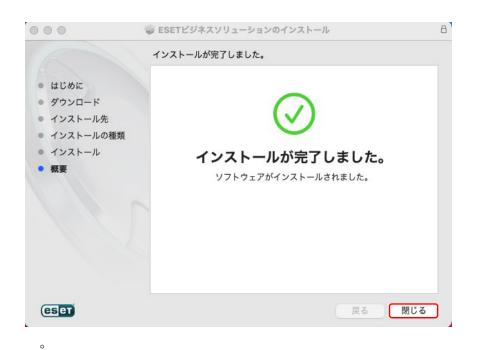
⑥ インストールディスクに問題がなければ、[続ける]をクリックします。



⑦ インストール先に問題がなければ、[インストール]をクリックします。



⑧ 製品のインストールが完了したら、[閉じる]をクリックします。



## 3 自動製品アップデート無効方法

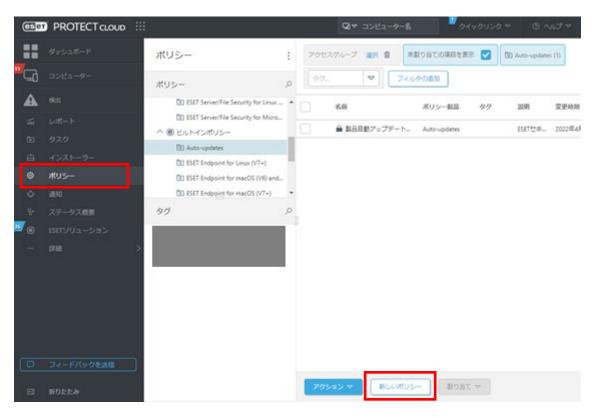
既定では、「すべて」の静的グループに自動製品アップデート有効のポリシーが適用された状態になっています。

ここでは自動製品アップデートを無効にする手順を記載します。

## 3.1 自動製品アップデート無効手順

EP の自動製品アップデートを無効にする手順は以下となります。

① EP コンソールより[ポリシー]クリックし、画面下部の「新しいポリシー」ボタンを クリックします。



② 名前に任意の値を入力し、[設定]をクリックします。

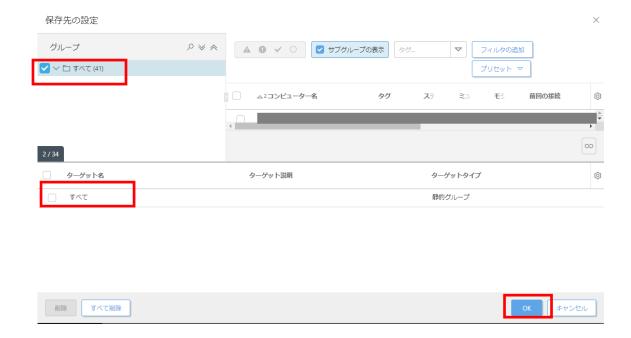


③ 「Common features」を選択し、「自動アップデート」のスライダーバーがオフになっていることを確認して設定を強制し、[割り当て]をクリックします。

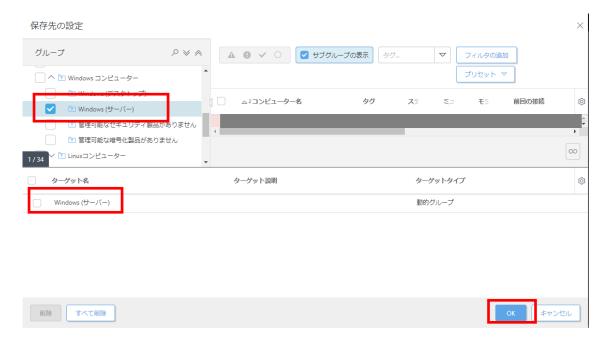


④ [割り当て]ボタンをクリックし、[保存先の設定]より自動製品アップデートを無効にしたいコンピューターにチェックを入れ、[OK]をクリックします。

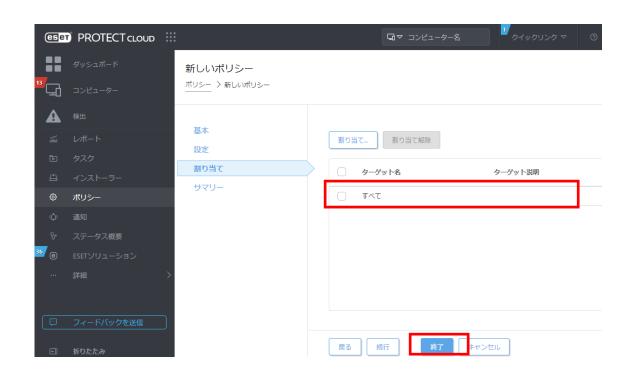
例 1: すべてのコンピューターで自動製品アップデートを無効にしたい場合は、グループ「すべて」を選択します。



例 2: Windows サーバー製品のみ製品自動製品アップデートを無効にしたい場合は、グループ「Windows (サーバー)」を選択します。



⑤ [割り当て]画面にて④で選択した対象がターゲットに入っていることを確認し、 「終了」をクリックします。



## 4 オフラインロック解除コードの確認方法

ESET Endpoint Security for Android 5.0 以降では、デバイスがオフラインの場合にオフラインロック解除コードを使用してデバイスのロックを解除できます。ここではオフラインロック解除コードを確認する手順を記載します。

#### 4.1 デバイスコードの確認

ロックされたデバイスでデバイスコードを確認します。

① ロックされたデバイスの画面で「このデバイスはオフラインですか?ここをタップ するとデバイスコードでロックを解除します」をタップします。





② 遷移した画面に表示されるデバイスコードを控えます。





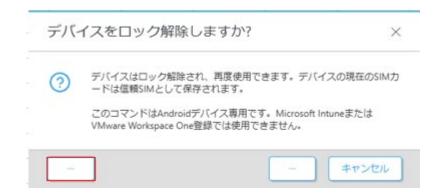
## 4.2 オフラインロック解除コードの確認

EPのWebコンソールでオフラインロック解除コードを確認します。

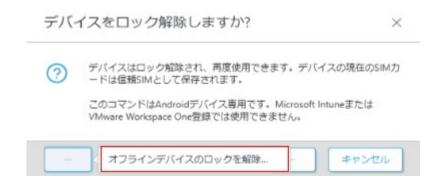
① EPのWeb コンソールでコンピューターの一覧からロックされたデバイスを選択してコンテキストメニューから[モバイル]-[ロック解除]を選択します。



② 「デバイスをロック解除しますか?」の画面で左下の「・・・」をクリックします。



③ 表示される「オフラインデバイスのロックを解除」をクリックします。



④ 「4.1 デバイスコードの確認」で確認したデバイスコードを入力して、「コードを表示」をクリックします。



⑤ オフラインロック解除コードが表示されます。 ※このコードをロックされたデバイスの画面で入力するとロックを解除できます。

